

【いわてインキュベーションファンドの概要】

いわてインキュベーションファンド(正式名称「いわてベンチャー育成投資事業有限責任組合」)は、岩手県に所在する成長性の高い未公開企業で、設立7年未満又は中小企業創造活動促進法認定企業などを対象に投資を行うものです。運用期間は平成14年4月22日～平成24年4月21日(10年間)で、業務執行はフューチャーベンチャーキャピタル株式会社が行っています。

株式会社ワイズマン

高齢化社会を支えるソリューションを提供

福祉・医療のソフトウェア開発

社会の高齢化が急速に進んでいる日本。今年度政府が発表した65歳以上の高齢者は総人口の19%に及び、今後さらに福祉そして医療を含めた高齢者ケアの在り方が重要になっていくだろう。

この社会的課題に、ソフトウェア開発というITの分野から取り組んでいる企業が、盛岡に本社を置く株式会社ワイズマン。福祉関係では介護老人保健施設や介護老人福祉施設はじめ訪問介護事業、訪問看護事業、通所介護事業などを対象にその業務処理を中心としたコンピュータシステムの開発・販売とサポートを手掛け、一方医療関係では中小規模の病院や診療所を対象にした電子カルテシステム、オーダーリングシステム、医療会計システムなどの提供を行っている。

また子会社である株式会社ワイズマンコンサルティングでは、地方自治体を対象として保健福祉分野の計画策定や調査などに関するコンサルティング事業も展開している。

日本の高齢者福祉と医療の現場において、ワイズングループは豊富なノウハウを持つソリューション提供企業としてその名を知られている。

時代のニーズをつかみ取る

近い将来、必ずパソコンとパッケージソフト活用の時代が到来する 信念を胸に、南館社長が実家のある一戸町で

ワイズマンを設立したのは昭和58年。その後、委託をきっかけに開発した森林組合向け業務ソフトは、平成元年に林野庁が決定した全国の森林組合へコンピュータシステムを導入する際の補助事業という追い風を受け、岩手から一気に全国へ広がっていった。

そのビジネスの中で南館社長が実感したのが「顧客の信頼獲得には迅速できめ細かいユーザーサポートが必要不可欠ということだった」という。日進月歩のIT技術をいち早く新製品に反映させる研究開発力とともに、代理店販売が主流の業界において、全国の支店に自社の社員を配して自社販売、自社サポートを展開しているのは同社独自の経営姿勢であり最大の強みとなっている。

この開発力とサポート実績が認められ平成2年に受注・開発された福祉施設向けソフトウェアは、当時の厚生省が「高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略」を発表したことを受けパッケージ化。それと同時に各施設向けに製品ラインナップも拡充した。そして現在、同社が販売するソフトウェアは福祉関連や事業者に対する販売シェアで国内トップクラスを誇るまでになっている。

ワイズマンの躍進は、時代の波とうまくマッチしたからともいえる。しかしその波を逃さなかった事、そして顧客サイドに立った経営姿勢を貫いてきた事こそが、本当の成功の理由なのだ。



南館伸和社長

株式上場、そして未来へ

そして平成16年10月、ワイズマンはジャスダック市場に上場した。南館社長が上場にチャレンジすることを決めたのは平成9年。ファンド受け入れは上場への準備のひとつであり「フューチャーベンチャーキャピタル 株」から様々な情報を得られることにメリットがあった」と話す。

この上場による“効果”は社内的にも大きかったようだ。「規程類など会社としての『骨格』は出来ていたものの、審査をクリアするため体制をさらに整備しました。その結果会社が引き締まり、目指す方向もはっきりした」と南館社長。加えて社員のモチベーションの向上という点でも意義があったという。これを踏まえ「今後は若い社員が自ら考えていけるような組織づくりをしていきたい」と話す。

これからの目標は医療分野のシェア拡大。「製品ラインアップの強化と福祉系システムとの連動を実現し、最終的には当社の売上高において50%を目指します」と南館社長。今期、同社の売上高は52億円を越える見込み。これを100億円にまで持っていくのが当面の計画であり、南館社長は「その中で二部上場も視野に入ってくるだろう」とも語ってくれた。

福祉ソフトのパイオニアとして岩手から全国へ。ワイズマンの成長は、私達へも活力を与えてくれる。

ファンドの視点

いわてインキュベーションファンドの第1号投資先である(株)ワイズマン様は、新しいマーケットを創造するために時代を見通した明確なビジョンを掲げ、その実現のために戦略を構築しさまざまな環境変化に対応して変革を続けてきました。

業界トップシェアのポジションは、南館社長のリーダーシップ、笠寺専務のサポートが全社員の力を引き出した成果だと思えます。

日本社会は高齢化社会に突入り、今後ますます福祉・医療の分野のマーケットは拡大を続けます。株式上場を果たしましたが、これを新たなスタートとして更なる挑戦を続け、これからも成長していくことを期待しています。

いわてインキュベーションファンド業務執行組員
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 岩手事務所
シニアインベストメントオフィサー 辻 芳岳

企業概要

設立：昭和58年6月
代表者：代表取締役 南館伸和
所在地：盛岡市盛岡駅西通2-9-1マリオス17階
電話番号：019-621-5011
資本金：9億6090万円
従業員数：295人
業務内容：福祉施設・事業者向け / 医療機関向け / 地方自治体その他公益法人向け / コンピュータシステムの開発・販売・サポート